

国語学習Can-doリスト

レベル	No. カテゴリ	話す	No.	聞く	No. カテゴリ	書く	No. カテゴリ	読む			
E1	1	話す	友だちに、楽しかった出来事について時間の流れに沿って説明することができる。	13	友だちが「今いちばん楽しいこと」について話しているとき、おもしろいところ、おどろいたことは何かを考えながら聞くことができる。	19	説明的文章	学校にある花を見たり、触ったり、においを嗅いだりして分かったことを観察日記に書くことができる。	34	説明的文章	草花が育つ様子を説明した文章を読んで、どんな順序で育つか分かる。
	2	話し合う	友だちと好きなものについて話し合うとき、感想を言ったり質問をしたりして話を続けることができる。			20	文学的文章	物語の「はじめ」と「おわり」の絵を見て、その間に起こった出来事を想像して、出来事の順序やつながりを考えて書くことができる。	35	文学的文章	物語を読んで、誰が何をしたか、誰が何を言ったかが分かる。
E2	3	話す	「筆箱の中に何を入れているか」というテーマでクラスの生徒にアンケート調査した結果を、表やグラフを見せながら、発表することができる。	14	校長先生から学校の歴史についての説明を聞くと、大事なことをメモをとりながら、聞くことができる。	22	説明的文章	コンビニやスーパーの店員にインタビューをした結果を報告するために、インタビューの目的、仕事内容、分かったこと、それをもとに考えたことを、段落に分けて書くことができる。	36	説明的文章	説明文のまとめ(はじめ・中・おわり)ごとに、中心となる語や文を確かめて要約することができる。
	4	話し合う	学校の自慢したいところをグループで話し合うとき、自慢したいもののアイデアを、理由を添えて出すことができる。			23	文学的文章	小さい子供のために、登場人物や場面を自分で設定し、「始まり」「事件」「解決」「結末」のような展開を組み立てて、物語を書くことができる。	37	文学的文章	物語の登場人物の行動や会話から、その人物の気持ちを理解することができる。
E3	5	話す	「将来の夢」というテーマでスピーチをするとき、要点や情報をまとめた図表を見せながら、その夢をもったきっかけや夢に対する自分の想いを伝えることができる。	15	友だちに「クラブ活動」についてインタビューをするとき、事前に聞きたいことをはっきりさせた上で、友だちの答えの流れにそって質問をすることができる。	25	説明的文章	「よりよいクラスにするにはどうしたらいいか」について、文章全体の構成に気を付けて、自分の主張、理由、根拠を500字(A4半分)程度で書くことができる。	38	説明的文章	筆者の意見が書かれた文章を読んで、筆者の考えとそれを支える事例との関係性が分かる。
	6	話し合う	「教科書を毎日家に持ち帰った方がいいか」について、グループで話し合うとき、自分の立場を明確にした上で、理由や事例を踏まえて考えを話すことができる。			26	文学的文章	自分の「座右の銘」について、その言葉が座右の銘になった理由や経験をそのときの気持ちを交えて500-600字程度(A4半分)で書くことができる。	39	文学的文章	物語の登場人物の行動や会話から、人物同士の関係と互いに対する心情を読み取ることができる。
L1	7	話す	「わたしの好きなこと」というテーマで1分程度のスピーチをするとき、話の構成を工夫したりエピソードを加えたりして、紹介する物事の良さや自分にとっての価値を伝えることができる。	16	テレビドラマやアニメ作品のあらすじについて友だちが話しているのを聞いて、よく分からなかったことを友だちの言葉を引用したり、言い換えたりして、質問をすることができる。	27	説明的文章	「コンビニの24時間営業」について、賛成・反対どちらかの立場に立ち、根拠となる事実や具体例を示して、600~800字(A4・1枚)で自分の考えを書くことができる。	40	説明的文章	筆者の意見が書かれた文章を読んで、自分の考えたことを友だちに伝えるために、文章から必要な情報を取り出したり、結び付けたりして、筆者の考えを要約することができる。
	8	話し合う	「中学生にスマートフォンが必要か」についてグループでディスカッションするとき、新聞の情報や統計調査の結果を根拠に、賛成・反対どちらかの立場を決めて、自分の意見を述べるることができる。			28	文学的文章	ある登場人物の視点から書かれた小説の一部を、別の登場人物の視点に立って、書き換えることができる。	41	文学的文章	小説の登場人物の行動を表す表現から、その人物の心情や変化を読み取ることができる。
						29	実用的文章	美術館へ取材の依頼をする際、気持ちや用件が的確に伝わるように電子メールを使って書くことができる。	42	本などから情報を得る	自分に必要な情報を得るために、情報の即時性、信頼性、多様性に注意して媒体(本・新聞・雑誌・インターネット)を選ぶことができる。
L2	9	話す	「地域の活性化」についてパブリックスピーキングを行うとき、聴衆への問いかけ、問題点の提示、解決策の提案とその根拠を論理的展開を考えて、述べるができる。	17	「ペットを飼うこと」について、クラスで討論会を行うとき、言葉遣いや表現だけでなく、発言者の主張とその根拠の適切さを評価しながら聞くことができる。	30	説明的文章	人気のアニメ作品、もしくは好きなマンガの価値や特性について、データや専門家のコメントといった資料を引用して、600~800字(A4・1枚)で説得力のある批評文を書くことができる。	43	説明的文章	人工知能についての論説文を読んで、論理(例:原因と結果、意見と根拠、具体と抽象)の展開の分かりやすさと適切さを評価することができる。
	10	話し合う	クラスでできるSDGsの取り組みをグループで考え、出合ったアイデアを分類、整理し、互いの意見を認め合った上で、クラス目標を決めることができる。			31	実用的文章	修学旅行について、場所別、日付順、心に残った出来事順といった編集の方針を決めて、5~6ページの旅行記を作ることができる。	44	文学的文章	回想シーンが織り込まれた小説を読んで、出来事が起こった順序と登場人物の気持ちの変化を読み取ることができる。
U	11	話す	「学校の防災対策」について全校生徒にプレゼンテーションをするとき、災害時に想定される校内の状況や必要な対策を、写真や動画をスライド等で示しながら、説明することができる。	18	同級生による「フェイクニュースに騙されないために」というテーマのスピーチを聞くと、主張と根拠となる事例の説明や考察が妥当であるかを評価しながら聞くことができる。	32	論理的文章	「日本の労働問題」について、国や自治体が公開する統計資料を根拠として、妥当なデータを引用しながら、600~800字(A4・1枚)で自分の意見をレポートに書くことができる。	46	論理的文章	「コミュニケーションの目的」をテーマにした二つの評論文を読み比べ、文章の構成や論理の展開の違いを捉えた上で、それぞれの筆者の考えが分かる。
	12	話し合う	「野生動物と人は共存できるか」というテーマで話し合うとき、グループ全員が納得できる結論に導くことができるように、部分的な合意や条件付きでの合意を含め、グループの意見をまとめることができる。			33	実用的文章	学校及び受け入れ先に提出するためのインターンシップ活動報告書を、動機、活動内容、振り返り、将来への展望を含めて作成することができる。	47	文学的文章	小説の登場人物の心情を暗示的な表現や象徴的な表現から推測し、読み取ることができる。
								48	実用的文章	バリアフリー法に基づいて定められた公園施設の設置基準に関する省令と、公園のバリアフリーの必要性を述べた新聞記事を読んで、身近な公園の工夫された点や、改善すべき点分かる。	

こくごがくしゅうのうりよく じこひょうか
国語学習能力 自己評価 アンケート

年 月 日 クラス

名前
 ぼご
 母語

次の 1~48 には「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」についての言語行動（言葉を使って何ができるか）が書かれています。これらの文（記述文）を読んで、次の A と B にそれぞれ答えください。

A: 日本語でどのくらいできますか。

B: あなたの母語でどのくらいできますか。

答えるときは、以下の 1・2・3・4 の中から当てはまる番号を書いてください。

1: できない 2: あまりできない 3: むずかしいがなんとかできる 4: できる

話す

1: できない 2: あまりできない 3: むずかしいがなんとかできる 4: できる

No.	記述文	A 日本語	B 母語
例	レストランで、「すみません」といった表現を使って、店員を呼ぶことができる。	4	4
1	友だちに、楽しかった出来事について時間の流れに沿って説明することができる。		
2	友だちと好きなものについて話し合うとき、感想を言ったり質問をしたりして話を続けることができる。		
3	「筆箱の中に何を入れているか」というテーマでクラスの生徒にアンケート調査した結果を、表やグラフを見せながら発表することができる。		
4	学校の自慢したいところをグループで話し合うとき、自慢したいもののアイデアを、理由を添えて出すことができる。		
5	「将来の夢」というテーマでスピーチをするとき、要点や情報をまとめた図表を見せながら、その夢をもったきっかけや夢に対する自分の想いを伝えることができる。		
6	「教科書を毎日家に持ち帰ったほうがいいか」について、グループで話し合うとき、自分の立場を明確にした上で、理由や事例を踏まえて考えを話すことができる。		
7	「わたしの好きなこと」というテーマで 1分程度のスピーチをするとき、話の構成を工夫したりエピソードを加えたりして、紹介する物事の良さや自分にとっての価値を伝えることができる。		
8	「中学生にスマートフォンが必要か」についてグループでディスカッションするとき、新聞の情報や統計調査の結果を根拠に、賛成・反対どちらかの立場を決めて、自分の意見を述べることができる。		
9	「地域の活性化」についてパブリックスピーキングを行うとき、聴衆への問いかけ、問題点の提示、解決策の提案とその根拠を論理の展開を考えて、述べることができる。		
10	クラスでできる SDGs の取り組みをグループで考え、出したアイデアを分類、整理し、互いの意見を認め合った上で、クラス目標を決めることができる。		
11	「学校の防災対策」について全校生徒にプレゼンテーションするとき、災害時に想定される校内の状況や必要な対策を、写真や動画をスライド等で示しながら、説明することができる。		
12	「野生動物と人は共存できるか」というテーマで話し合うとき、グループ全員が納得できる結論に導くことができるように、部分的な合意や条件付きでの合意を含め、グループの意見をまとめることができる。		

聞く

1：できない 2：あまりできない 3：むずかしいがなんとかできる 4：できる

No.	記述文	A 日本語	B 母語
13	友だちが「今いちばん楽しいこと」について話しているとき、おもしろいところ、おどろいたことは何かを考 えながら聞くことができる。		
14	校長先生から学校の歴史についての説明を聞くと、大事なことをメモをとりながら、聞くことができる。		
15	友だちに「クラブ活動」についてインタビューをするとき、事前に聞きたいことをはっきりさせた上で、友だち の答えの流れにそって質問をすることができる。		
16	テレビドラマやアニメ作品のあらすじについて友だちが話しているのを聞いて、よく分からなかったことを友だ ちの言葉を引用したり、言い換えたりして、質問することができる。		
17	「ペットを飼うこと」について、クラスで討論会を行うとき、言葉遣いや表現だけでなく、発言者の主張と 根拠の適切さを評価しながら聞くことができる。		
18	同級生による「フェイクニュースに騙されなかったために」というテーマのスピーチを聞くと、主張と根拠とな る事例の説明や考察が妥当であるかを評価しながら聞くことができる。		

書くこと

1：できない 2：あまりできない 3：むずかしいがなんとかできる 4：できる

No.	記述文	A 日本語	B 母語
19	学校にある花を見たり、触ったり、においを嗅いだりして分かったことを観察日記に書くことができる。		
20	物語の「はじめ」と「おわり」の絵を見て、その間に起こった出来事を想像して、出来事の順序やつながりを 考えて書くことができる。		
21	今日したこと、見たこと、聞いたこと、言ったこと、思ったことを日記に書くことができる。		
22	コンビニやスーパーの店員にインタビューをした結果を報告するために、インタビューの目的、仕事内容、 分かったこと、それをもとに考えたことを、段落に分けて書くことができる。		
23	小さい子どものために、登場人物や場面を自分で設定し、「始まり」「事件」「解決」「結末」のような展開を組み 立てて、物語を書くことができる。		
24	学校行事（運動会や音楽会）の案内を地域の人に出すとき、必要な情報を手紙の形式に沿って書くことができ る。		
25	「よりよいクラスにするにはどうしたらいいか」について、文章全体の構成に気を付けて、自分の主張、理由、 根拠を500字（A4半分）程度で書くことができる。		
26	自分の「座右の銘」について、その言葉が座右の銘になった理由や経験をそのときの気持ちを交えて500～600 字程度（A4半分）で書くことができる。		
27	「コンビニの24時間営業」について、賛成・反対どちらかの立場に立ち、根拠となる事実や具体例を示して、 600～800字（A4・1枚）で自分の考えを書くことができる。		
28	ある登場人物の視点から書かれた小説の一部を、別の登場人物の視点に立ち、書き換えることができる。		
29	美術館へ取材の依頼をする際、気持ちや用件が的確に伝わるように電子メールを使って書くことができる。		
30	人気のアニメ作品、もしくは好きなマンガの価値や特性について、データや専門家のコメントといった資料を 引用して、600～800字（A4・1枚）で説得力のある批評文を書くことができる。		

書くこと

1：できない 2：あまりできない 3：むずかしいがなんとかできる 4：できる

No.	記述文	A 日本語	B 母語
31	修学旅行について、場所別、日付順、心に残った出来事順といった編集の方針を決めて、5～6ページの旅行記を作ることができる。		
32	「日本の労働問題」について、国や自治体が公開する統計資料を根拠として、妥当なデータを引用しながら600～800字（A4・1枚）で自分の意見をレポートに書くことができる。		
33	学校及び受け入れ先に提出するためのインターンシップ活動報告書を、動機、活動内容、振り返り、将来への展望を含めて作成することができる。		

読む

1：できない 2：あまりできない 3：むずかしいがなんとかできる 4：できる

No.	記述文	A 日本語	B 母語
34	草花が育つ様子を説明した文章を読んで、どんな順序で育つかが分かる。		
35	物語を読んで、誰が何をしたか、誰が何を言ったかが分かる。		
36	説明文のまとめ（はじめ・なか・おわり）ごとに、中心となる語や文を確かめて要約することができる。		
37	物語の登場人物の行動や会話から、その人物の気持ちを理解することができる。		
38	筆者の意見が書かれた文章を読んで、筆者の考えとそれを支える事例の関係性が分かる。		
39	物語の登場人物の行動や会話から、人物同士の関係と互いに対する心情を読み取ることができる。		
40	筆者の意見が書かれた文章を読んで、自分の考えたことを友だちに伝えるために、文章から必要な情報を取り出したり、結び付けたりして、筆者の考えを要約することができる。		
41	小説の登場人物の行動を表す表現から、その人の心情や変化を読み取ることができる。		
42	自分に必要な情報を得るために、情報の即時性、信頼性、多様性に注意して媒体（本・新聞・雑誌・インターネット）を選ぶことができる。		
43	人工知能についての論説文を読んで、論理（例：原因と結果、意見と根拠、具体と抽象）の展開の分かりやすさと適切さを評価することができる。		
44	回想シーンが織り込まれた小説を読んで、出来事が起こった順序と登場物の気持ちの変化を読み取ることができる。		
45	健康食品の情報提供サイトを見たときに、商品の有効性を強調する目的は何か、公益的・中立的な機関による情報提供であるかを考慮し、信頼できる情報かどうかを判断することができる。		
46	「コミュニケーションの目的」をテーマにした二つの評論文を読み比べ、文章の構成や論理の展開の違いを捉えた上で、それぞれの筆者の考えが分かる。		
47	登場人物の心情を暗示的な表現や象徴的な表現から推測し、読み取ることができる。		
48	バリアフリー法に基づいて定められた公園施設の設置基準に関する省令と、公園のバリアフリーの必要性を述べた新聞記事を読んで、身近な公園の工夫された点や、改善すべき点が分かる。		

見本 ○○さん 国語の自己評価アンケートの結果

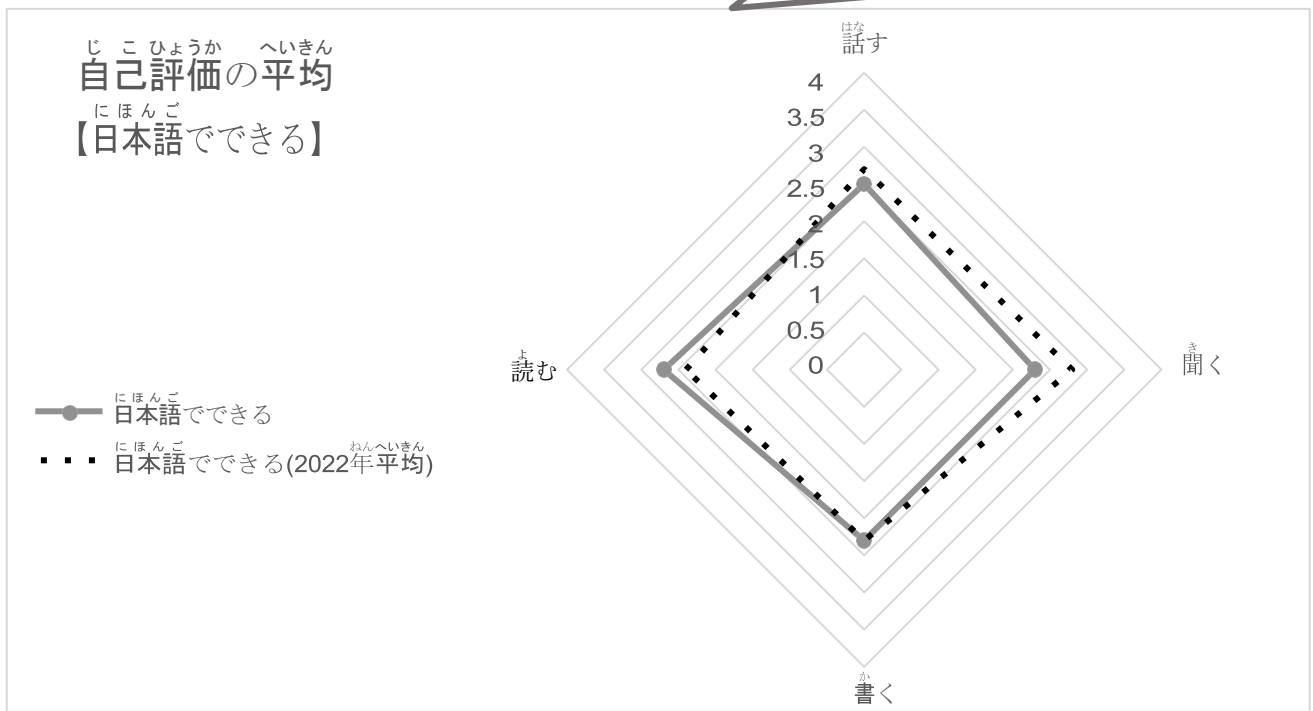
アンケートをした日：2022年4月

「できる」「あまりできない」「なんとかできる」「できない」を4・3・2・1という数字にして、
4つの技能の平均を出しました。

自己評価の平均

4：できる
3：むずかしいがなんとかできる
2：あまりできない
1：できない

	話す	聞く	書く	読む
母語でできる	4.0	4.0	3.8	3.9
日本語でできる	2.5	2.3	2.3	2.7
日本語でできる (2022年入学生の平均)	2.7	2.8	2.3	2.4



① アンケートの文の中で、日本語で [4：できる] [3：できない] と答えた文をもう一度読みましょう。
得意なことを考えましょう。

② アンケートの文の中で、[2：あまりできない] [1：できない] と答えた文をもう一度読みましょう。
できるようになりたい！！と思う文は何番ですか。

どうやってがんばるか、先生にもアドバイスをもらいましょう。

③ これからがんばりたいことに○を書きましょう。

話す

聞く

書く

読む